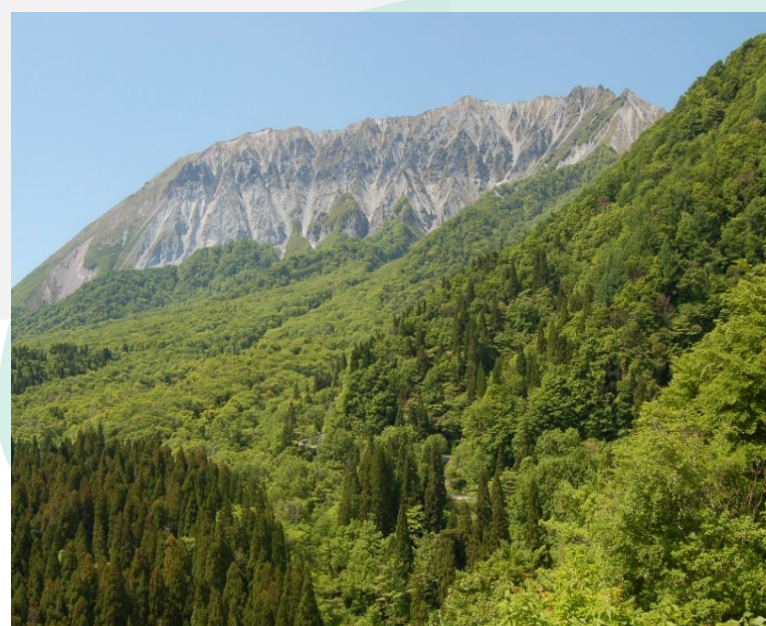




令和5年度 鳥取森林管理署重点取組事項



令和5年度 鳥取森林管理署重点取組事項について

目次

- 1 公益重視の管理経営の推進等
- 2 「新しい林業」の確立に向けた取組の展開
- 3 民有林関係者等多様な主体への技術支援・普及

1 公益重視の管理経営の推進等

「治山事業による国土強靱化」、「生物多様性の保全」、「木材の安定供給・利用」、「民有林との連携強化」を柱とした公益重視の管理経営を推進します。

治山事業による国土強靱化

流域治水と連携した国土強靱化の取組

山地災害危険地区や重要なインフラ周辺等のうち、特に緊要度の高いエリアや氾濫した河川上流域等において、流域治水に資するための森林の防災・保水機能を発揮させる治山施設の整備に取り組みます。



治山事業による『安全』『安心』の確保

市街地への落石を防止するため、防護ネットを設置する山腹工を実施するなど、地域住民の安全・安心の確保に取り組みます。



大山の国有林治山事業の歩み

大山は火山活動によりできたトロイデ式火山で、主に角閃安山岩からなっています。現在は解体期にあることから各所に大規模な崩壊地が見られ、出水期には多量の土砂礫が流れ出し、下流域に与える影響は計り知れないものがあります。このため、大正6年に大阪営林局(現 近畿中国森林管理局)の直轄事業として事業に着手したことに始まり、昭和9年の室戸台風を契機として事業区域を拡大し、昭和13年に大山治山事業所(大山町大川寺)を設置、令和5年で106年を迎えます。



森林土木工事におけるICT化の推進

ウェアラブルカメラを活用した遠隔臨場に取り組み、作業現場の状況をいち早く確認して、受発注者間の円滑なコミュニケーションを図り、業務の効率化・省力化に取り組みます。



自然環境部局等と連携した病虫害対策

令和2年は、全国的にナラ枯れ被害が増大しました。鳥取県でも被害が増大し、国立公園である大山一帯では夏にもかかわらず、あたたかも紅葉しているかのようにコナラ、ミズナラが枯れてしまいました。

令和3年、令和4年の被害は減少しましたが、まだ終息していません。このため、大山地区の国有林において、昨年夏の被害木の伐倒くん蒸、立木くん蒸などの駆除作業を実施します。また、被害を抑えるため、立木の幹をビニールで覆うなどの被害予防措置を実施します。さらに、被害木の有効活用の可能性を検討します。



令和2年のナラ枯れ被害の様子(大山国有林:大山町)

ビニール被覆の様子

森林の天然力を活かした針広混交林への誘導

鏡ヶ成国有林において、針広混交林(針葉樹と広葉樹が混じり合った森林)へ誘導するための取組みを行っています。

この取組は、森林の天然力を活かして、針広混交林に誘導するため、択伐後の地表処理及び照度管理などについて、専門家の意見を聞きつつ取り組めます。

- | | |
|----------|------------|
| ① 区域面積 | 11.91 ha |
| ② 樹種及び林齢 | スギ人工林 69年生 |
| ③ 択伐率 | 27% |
| ④ 択伐完了 | 令和4年12月 |



鏡ヶ成国有林の林内の様子(鏡ヶ成国有林:江府町)

木材の安定供給の推進 (立木販売、委託販売、システム販売)

【立木販売】国有林材を立木の状態で販売します。
搬出期間は3年程度あります。(R5予定 27,542m³)

【委託販売】あらかじめ契約を締結した原木市場を通じて
セリ等により丸太を販売します。(R5予定 3,410m³)

【システム販売】地域における木材の計画的・安定的な供給を図るため、あらかじめ協定を締結した工場等へ丸太を直接販売します。(R5予定 6,190m³)

森林土木工事における存置型枠等による木材利用

コンクリート構造物の施工にあたっては、上流側に、木製丸太の存置型枠を採用し、積極的な木材利用に取り組めます。



令和4年度床固工事における存置型枠の木材利用の様子
(大山国有林: 大山町)

民有林と連携した森林整備の推進

小舟山国有林(若桜町)と隣接民有林を対象区域として、小舟山地域森林共同施業団地を設定しています。令和4年度には、同団地内の国有林から民有林間伐施業地に接続して利用可能となる林業専用道が完成しました。

今年度も、民有林と国有林が連携して森林整備に取り組むなど、森林の多面的機能の高度発揮を促すとともに、地域の森林・林業・木材産業の活性化を図る取組みを推進します。



令和3年度林業専用道施工地
(小舟山国有林: 若桜町)

地域林政連絡会議の開催

当署では、民有林施策との一体的な推進を図りつつ、森林・林業再生への貢献に向け積極的に取組むこととして、このため、民有林との連携をより一層強化するため、鳥取県、森林整備センター鳥取水源林整備事務所、中国四国農政局鳥取県拠点と情報共有や意見交換の場として鳥取県地域林政連絡会議を開催しています。



令和4年度鳥取県地域林政連絡会議の様子(鳥取森林管理署)

地域との連携によるシカ捕獲 (ついで見回り・通報の取組)

「ついで見回り・通報」は、狩猟者が設置したワナを事業の受注者が、朝・夕の通勤時に見回り、捕獲等が確認された際に狩猟者へ通報することで、効率的なシカ捕獲を行う取組です。このため、林道から見通せる箇所にワナを設置する必要があり、設置場所を選ばずエサで誘引する「小林式誘引捕獲」との組み合わせで効果が期待される場所です。

令和4年度は、小舟山国有林(若桜町)で協定を締結のうえ実施しました。引き続き、地域と連携した捕獲を推進していきます。



令和4年度ついで見回り・通報連携協定調印式の様子(鳥取森林管理署)

2 「新しい林業」の確立に向けた取組の展開

イノベーションで伐採から再造林、保育の収支をプラスへ転換させる「新しい林業」の確立に向けて「造林の低コスト化・省力化」、「素材生産の低コスト化・省力化」、「鳥獣害対策の推進」、「ICT技術の活用推進」を柱とした取組を実施します。

造林の低コスト化・省力化に向けた取組

下刈の省力・削減の取組

下刈は、コスト、労力が課題となっています。下刈回数を削減し、省略化、低コスト化に努めます。

下刈省略にあたっては、その可否を判断するため、下刈箇所
の植生状況により、3
タイプ(C1、C2、C3)の
区分判定を実施しま
す。

また、下刈の実施
においては、コスト削減
の観点から、一律全
刈としないで、可能な
限り筋刈とします。



下刈省略したC2林分(西鴨国有林:倉吉市)



下刈実施するC3林分(三徳谷国有林:三朝町)

C1	C2	C3
樹冠の梢端が雑草から露出 【下刈省略】	樹冠の梢端と雑草木の高さが同じ 【下刈省略を検討】	樹冠が雑草木に埋もれている 【下刈を実施】

収穫調査の効率化・省力化

3次元地上レーザースキャナ計測器による収穫調査を実施して、収穫調査の効率化・省力化に積極的に取組みます。



3次元地上レーザースキャナによる収穫調査の様子
(猪呼谷国有林:鳥取市)

混合契約の取組

立木の売買契約とその伐採跡地に植栽する造林作業請負契約を同一人と一括して契約する混合契約に取組みます。令和5年度は、坪谷奥国有林において、買受・受注者の長期的な事業量の確保及び、再造林に努めます。



混合契約予定地の林内の様子
(坪谷奥国有林:三朝町)

伐採と造林の一貫作業システムの推進

伐採から造林までを一括して発注し、地拵の省略やコンテナ苗使用による植付の省力化で低コスト化を図る一貫作業システムでの事業を実施します。令和5年度は、鍋割国有林で取組みます。



複数年契約の取組

事業者の経営の安定化や労働条件の改善、雇用の安定に資するため、複数年契約の活用による事業発注に取組みます。令和5年度は、沖ノ山国有林において、事業期間を複数年とする事業発注を行います。



複数年契約予定地の林内の様子
(沖ノ山国有林:智頭町)

地域との連携によるシカ捕獲

国有林内で活動する事業者、地元猟友会及び当署の連携で効果的な捕獲実施によりシカ捕獲頭数の増をめざします。この取組の関係者間の意見交換の場を設定し連携強化を図ります。



令和4年度シカ捕獲現地検討会の様子
(小舟山国有林:若桜町)

積雪地における防護柵の検討

多雪地における耐雪性、耐久性を兼ね備えた効果的なシカ防護柵の開発を目指し、京都大学、(株)キャムズ及び当署が連携、共同して取組みます。令和4年度に西鴨国有林に試験地を設定し、耐久性及び経費の検証を実施しています。



防護柵試験地の様子
(西鴨国有林:倉吉市)

ICT技術の活用推進

「新しい林業」の確立に向けた取組の展開

ドローンの活用

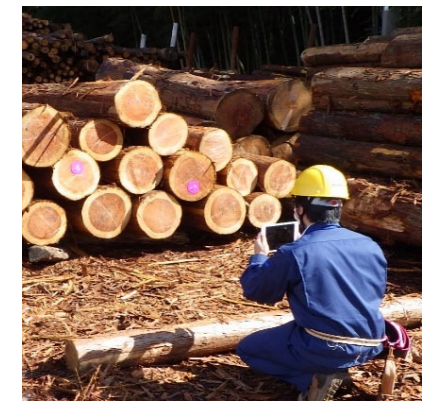
無人航空機ドローンによる山地災害箇所、造林生産事業地の現地状況の確認を実施して各種事業の効率化・省力化に積極的に取組めます。



ドローン撮影による事業地の現地確認の様子
(三徳谷国有林:三朝町)

ICTを用いた丸太検知の活用

撮影した画像から自動で丸太径を解析する丸太検知ソフトを活用して、素材のシステム販売における検知業務の効率化・省力化に積極的に取組めます。



丸太検知ソフトによる撮影の様子

3 民有林関係者等多様な主体への技術支援・普及

「市町村支援に関する情報提供」、「林業大学校等への支援」、「国有林を活用した地域振興」を柱とした民有林関係者等への技術支援・普及の取組を実施します。

市町村支援に関する情報提供、林業大学校等への支援

現地検討会の開催

新しい林業技術等の民有林への普及を図るため、毎年テーマを決めて現地検討会を開催しています。今年度も、複層林造成、シカ被害防止対策等をテーマに、鳥取県等民有林関係者の参加を募って実施します。



令和4年度小舟山森林共同施業団地
現地検討会(小舟山国有林:若桜町)

林業試験場と連携した少花粉スギ苗の実証試験

西鴨国有林の育成複層林施業地で、生分解性コンテナで養生した少花粉スギ苗を令和3年度に実証試験として植栽しています。鳥取県林業試験場と連携して、苗木の成長過程における様々なデータを今年度も引き続き収集します。



少花粉スギ苗の実証試験地の様子
(西鴨国有林:倉吉市)

林業大学校等への支援 (にちなん中国山地林業アカデミー)

我が国の林業を牽引し、地域から信頼される林業技術者の養成を目指す「にちなん中国山地林業アカデミー」の活動を支援します。昨年度は、アカデミー学生の技術力向上のため、土屋山国有林の伐採跡地において、コンテナ苗植栽等の現地実習を実施しました。



令和4年度アカデミー学生の実習の様
(土屋山国有林:日南町)

森林環境教育の推進

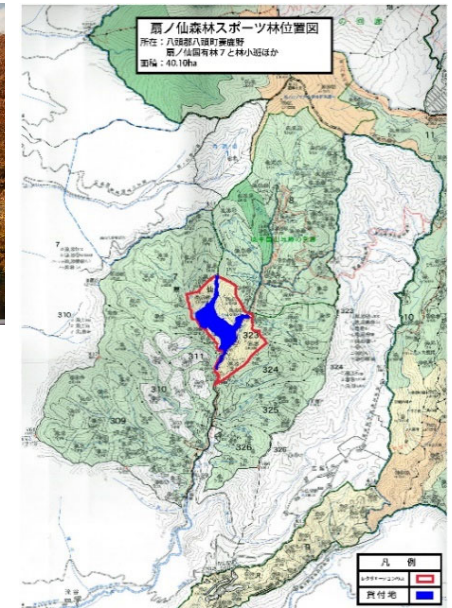
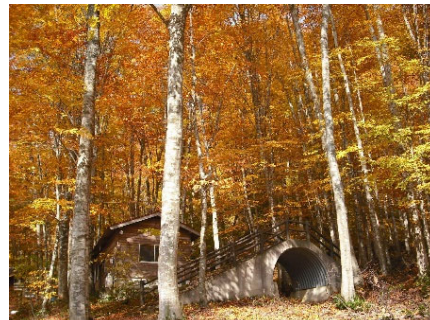
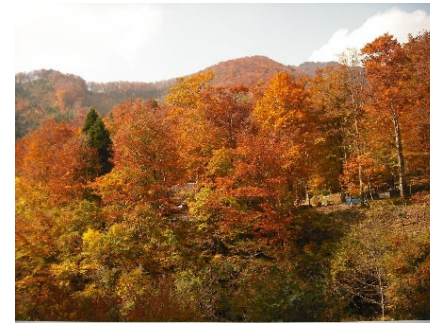
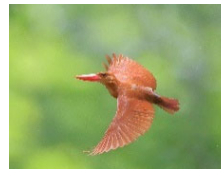
持続可能な社会を創るための森林・林業の役割や木材利用の意義について、皆さんの理解と関心を高めてもらうため森林教室、体験林業等を実施します。



令和元年度自然観察会
(大山国有林:大山町)

レクリエーションの森を活用した地域振興
(扇ノ仙国有林：八頭町)

林野庁では、「レクリエーションの森」620箇所のうち、特に美しい景観を有するなど、観光の場としての利用が期待される93箇所を「日本美しい森 お薦め国有林」として平成29年度に選定しました。
 その中で、林野庁が特に厳選した「7つの森」に『扇ノ仙森林スポーツ林』が選ばれています。
 扇ノ仙森林スポーツ林は、四季折々の魅力にあふれていて、素晴らしい景観や動植物の観察、キャンプなど、様々な楽しみ方があります。



主要事業量内訳

区分	項目	単位	令和5年度主要事業量 (年度当初予定)
収穫	主伐	千m ³	28.7
	間伐	千m ³	34.3
販売	立木販売	千m ³	27.5
	製品販売	千m ³	9.6
造林	地拵え	ha	3.3
	植付	ha	6.0
	下刈	ha	5.5
	つる切・除伐	ha	0
	保育間伐（活用型・ 存置型）	ha	225.3
	保育間伐（本数調整 伐）	ha	0
林道	林道新設	m	360
	改良	m	615
治山事業	国有林直轄治山	百万円	265
	民有林直轄治山	百万円	0

①事業量（年度当初予定）には、前年度の繰越事業量を含みます。

②収穫量、立木販売量には、分収林の民収分の数量（分収育林分12千㎡）を含みます。

③林道には、林業専用道を含みます。

④治山事業費には、災害復旧事業費を含みます。

【問い合わせ先】

鳥取県鳥取市吉方109 鳥取第3地方合同庁舎2階

鳥取森林管理署

TEL：050-3160-6125